



「て行」の天草方言 「天草方言集 鶴田 功著」

…て …から …ので …のに 「俺がすって」  
 …て …と …だと 「来んて 言いよる」  
 で で一【代】代価 価値 分量 **measure** 保有量 ②耐久性 長持ち  
 …で …から …ので 「良かで」  
 …で …ではないか …しよう 「がまだそで」頑張ろうよ  
 …て一 …から …ので …のに 「早かて一乗る」  
 …て一 …のに 「温っかて一」  
 で一【お礼】**thanks** ご挨拶 「正月で一に行く」  
 …で一 …から …ので …しようよ 「行こうで一」  
 てあい てや一 古語【手合ひ】 相手 仲間 連中  
 であいしごつ でや一しごつ〈出会い仕事〉 共同作業  
 てあかんつく 手の皮脂が付着する  
 であき〈出秋〉 秋の収穫時期  
 てあたりぼったり〈手当たり次第〉 無秩序に 片っ端から  
 であと〈出跡〉 実家 元家 嫁や養子の実家  
 てあます て一あます 持て余す 手をやく 手に負えない  
 てあらか【手荒い】 取り扱いが乱暴 荒々しい  
 であるき〈出歩き〉 外出 散歩  
 ていたらく〈為体〉 **condition** だらしない状態 自墮落  
 ていっぴゃー ていっぺー〈手一杯〉 手に負えない  
 て一うつ【手を打つ】 ②妥協する ②契約が成立する  
 て一かく【手を欠く】 手入れを怠る 手抜きする  
 て一かくる【手掛ける】 自ら手を下す 手数を掛ける 直接扱う  
 て一かす【手を貸す】 手伝う  
 で一く で一くどん でや一く【大工】 **carpenter** 建築技能士 [だ]の転音  
 て一くるる 支柱を立てる 添え木をする  
 て一げ てげ【大概】 **generally** 粗まし 大方 大略 程々  
 て一げて一げ てげてげ 大概に 大雑把に **rough** 大体で 程々 凡そ いい加減に  
 で一こん でや一こん【大根】 スズシロ(春の七草) [だ]の転音  
 て一し てし 掛け樋 筧 樋 水を引く樋《新和》  
 で一ぜん でぜん【靈膳】 仏壇に供える膳  
 て一た【炊いた】 煮た [た]の転音《佐伊津 五和》  
 て一た【解いた】 解体した [と]の転音《佐伊津 五和》  
 て一だ【研いだ】 [と]の転音 「鎌て一だ」鎌を研いだ  
 で一た【出した】 外へ動かした 表わした 提出した [だ]の転音  
 て一つにや一で て一つね一で 手をつないで 手を取って  
 て一で 手で 「手一で掴こうで」

でーでー【橙】 [だ] の転音

でーでにゃいっしょれ でーでんいっしょれ 出ないで居れ

でーてみろ でーてんど でーんみろ 退いてみろ [ど] の転音

でーとけ 炊いておきなさい 《佐伊津 五和》 [た] の転音

でーとけ でーとれ 退いておれ 下がっていなさい

でーとる【手を取る】 ②世話が焼ける 《京》

でーノある でノある【代】 代価に見合う 価値がある 分量が豊富だ 持ちが良い  
経済的だ 「飲みでーのある」 飲み応えがある 充分飲める

てーばら てーばる【田原】 田園 **countly** 《佐伊津 五和》 [た] の転音

てーまゑゃーて てまゑゃーて 手を回して 先手を打って 手配して 対策して

でゃーら でゃーら【平】 平地 **plain** [た] の転音

でーんとしとる 恬てんとしている 平然として動じない

デウスさま 《ラテン語》 **deus** キリスト様 **Cristo**

ておい 古語【手負ひ】 **wounded** 負傷した獲物 負傷兵

でおくれ【出遅れ】 婚期の遅れた女性

ておけ てぎ〈手桶〉 片手桶

…でか …から …ので 「俺が行くでか・良かでか」

でかかるとでかくる【出掛ける】 正に出る 出ようとする

てがしえ(せ)【手加勢】 手伝い

でかした 古語【でかす】 よっくやった《日ポ》

でがしら【出頭】 出っ端 出てすぐ

…でがす …でございます 「達者でがす」

でかくる 出掛ける 出發する

てかけ 古語【手掛】 妾 第二夫人 **second wife** 《京》

でがけ【出掛け】 出る時間に 出る頃 出始めで

でかけらいた でかけらした お出掛けになった

てかてか 艶があって光る様 光沢がある

てがやす【手返す】 裏面を反して干す 寄せて広げ直す

でがらし【出漕らし】 味が出尽くした茶殻

てかり 布地の擦れた部分が光って見える 脂分で肌が光って見える

てかる 布地の擦れた部分が光る 脂分で肌が光る

てぎ【手器】 手桶 片手桶

できあい《京》 できや 古語【出来合】 既製品 **ready-made**

できあがとる 完成している ②酔っている

てきき【手利き】 腕利き 技術や技能が優れている

できそくにゃー でけそくねー でけそこねー 出来損ない

できだか【出来高】 能率額 能率給

できださん でけださん 出来上がらない 仕上がらない

できたしこ でけたしこ 出来ただけ 生産量

できのよか でけのよか 古語【出来】<sup>でけ</sup> 成績がよい

てきばき〔擬態音〕<sup>オノマトペ</sup> 手っ取り早い 機敏 素早い  
 できばしするごつ でけばしするごつ 出来もしないのに  
 できぶつ でけぶつ 優秀な人材 実力家  
 できもん でけもん 近世語【でけもの】 腫瘍<sup>しゅよう</sup>《京》  
 できやっせん でけやっせん 出来ません  
 できゆうかい でゆうかい 外出しようか 出ましようか  
 できゆうきやー できゆうけー できゆうに 出来る訳がない  
 てぎれーか 手が器用 **skil** 出来栄えがよい  
 てぎわ【手際】**skil** 技量 **talent** 手腕 **tact** ②出来具合  
 できん でけん 出来ない 不可能 ②駄目 してはいけない  
 できんどかい でけんどかい 出来ないだろうか  
 できんどもん でけんどもん 出来ないでしょうね  
 でく【木偶】<sup>テグス</sup> てっくう 木彫り人形 ②不器用  
 てぐす【天蚕糸】 ヤママユガ科テグスガの幼虫の錦糸腺 ②釣り糸  
 てぐすねひく 古語【手薬練】 用意万端整える 満を持す  
 てぐせ【手癖】 盗癖  
 でぐせ【出癖】 外出癖  
 でくっだけ でくるしこ できる限り 出来る範囲で  
 でくっどうかね でくりーろ 出来るだろうか  
 てぐり【手繰り網】 魚網<sup>でけ</sup>  
 でくる でける 古語【出来】 生じる 可能 ②成績がよい《日ポ》  
 でくる【出る】 外出する 出場する  
 でくわする でっくわす 古語【出交す】 突然出会う  
 でくんな 外へ出るな  
 てげ【大概】**generally** 粗まし 大方 大略 程々  
 でけそくねー でけそこねー 出来損ない  
 でけた 古語【出来た】<sup>でけ</sup> 出た 完成した ②発売した《京》  
 でけだか【出来高】 出来た分量 生産高 ②取引総額  
 でけてから 出来てから 出てから ②収穫してから  
 てげてげ 大雑把に **rough** 大体で 程々 凡そ いい加減に  
 でけとる 出来ている  
 でけん 古語【出来ぬ】<sup>でけ</sup> 駄目 成績が悪い《京》  
 でけん でらん でん 古語【出ぬ】 出ない 外出しない 出場しない 現われない  
 てご〈手籠〉 竹編みの箆 **basket** 竹籠  
 でこ でこちん 額 額の広い人《京》  
 てこいれ【梃子入れ】 下支え 補強 ②暴落を防ぐ買い支え  
 …でござす …でござっす …でござりやす …で御在居ます  
 …でござすどが …でございましょう …でしょう  
 …でござすどかい …でしょうか  
 …でござっしゅかい …でございましょうか

…でござりやす …で御在居ます  
 てこずる【梃子摺る】 持て余す 始末ごうかんに困る《京》  
 てごめ【手込め】 暴力で服従させる 強姦 **rape** 婦女暴行  
てごんみゃー てごんめー〈手籠 手駒〉 勝手に 思い通り  
 …てさい …てさな …だとさ …だそうです  
 てさばき【手捌き】 手つき 手振り 手で扱う  
 てし てしー 古語【手為】 手製 手作り **handmade** 自作 ②自分でする  
 …てしえん …でしえん …でちしえん 「しゅうてしえん」  
 てしお てしを 古語【手塩しほ】 自ら世話をする 手に掛ける ②手皿 小皿 《日ポ》  
 てしおざら てしをざら 古語【手塩皿しほ】 小皿  
 てしおにかくる 古語【手塩しほ】 手を掛けて大事に養育する  
 てしじょい てしじょゆ 古語【手為】 **handmade soy** 手製の醤油  
 でしな 出際 出掛ける間際 出発前 [しな]は接尾語  
 てしゃ〈手者〉 手利き 手達者 巧者 達人  
 てじゃかんか 器用である  
てしゃくわしゃおえん 手に負えない 始末に負えない  
 でしゃぱり お節介する人 差し出がましい人  
 でしゃばる 差し出る 出過ぎる 手出し口出しする《京》  
 でしゃばんな 差し出るな 出過ぎるな  
 でしょがー でしょが でしょうもん そうでしよう  
 てじるし【手印】 寸志 心付け **tip** 気持ちばかりの贈物  
 てすき 手が空いている 暇 **time**  
 てすさび てずさみ 古語【手遊びすき】 **fingering** 手遊び 手慰み 手仕事  
 てすじノよか 手筋がよい 技量に長けている  
 …ですたい ですばい …ですよ  
 ですっぱり でっぱなし 出先から更に出る 出っ放し  
 …ですどが …でございましょう …でしよう  
 …ですばって… ですばってん …ですけど  
 …ですもんなー …ですよね  
 …てする …でする …とする 「行こうでする」  
 でぜん【靈膳】 仏壇に供える膳  
 …てせん …でせん …でちせん 「しゅうてせん」  
 …てぞいうた …ならばこそ言った 「我が子てぞ言うた」  
 …てたい …だそうですよ 「来っとてたい」  
 てだい てでゃー 古語【手代】 使用人 ②下級役人  
 てだし【手出し】 自腹を切る ②争いに加わる 関係する  
 でだし 出だし 最初 始まり 出発  
 てだすけ【手助け】 手伝い  
 でたち 古語【出発ち】 死者を送る別れの食事 出棺の膳  
 でたちやど【出発ち宿】 葬儀参列者の食事処

でたところしょうぶ 無計画な挑戦  
 でたろうば であつろうば 出たならば  
 …てち …と …とて 「行こうてちせん」  
 でちがう 古語【出違ふ】 入れ違いになる  
 てちぎゃー てちげー【手違い】 **hitch** 手順や方法の間違い  
 …てちもせん …ともしない 「しゅうてちもせん」  
 …てちや …と …でも …だって 「俺てちや」  
 …でちや …でつちや …であっても 「来たでちや役せん」  
 でつかす でつくわす 古語【出交す】 思い掛けなく出会う  
 てつかず 手を加えない ②使用していない状態  
 てつかみ てづかみ【手掴み】 素手で物を掴む  
 てつき【手付き】 手際 **skill** 手の所作 動作 仕種しぐさ  
 てつきり 絶対にできつと 必ず 間違いなく  
てつくう 古語【木偶】 木人形 ②不器用者  
 でつくる でつける《京》 外出が習慣になる  
 でつくわせた 古語【出交す】 偶然出会せた  
 てっこう てっこ てぬき【手っ甲】 手の甲を覆う布  
 …でっしゅ …でっしょ …でしよう  
 てっしらーと〈徹して〉 存分に ②見栄えよく  
 でっち 古語【丁稚】 **boy** 小僧 雑役の小僧 男児《京》  
 てつつくる 照り付ける  
 てつでー《佐伊津 五和》 てつでやー【手伝い】 **helper**  
 てつとりばよう 素早く 簡単に 手間を掛けず  
 でっぱな【出端】 最初 始め 出始め 走り  
 てっぱら〈撤払〉 ご破算 取り消し 破棄《大多尾》  
 てつびん 古語【鉄瓶】 鉄製の湯沸し器  
 でっぷらーと でっぷり 古語【でっぷり】 肥っている  
 てっぺん 古語【天辺】 **top** 頂上 **summit** 頂天 頂き 山頂《京》 最上  
 てっぼうち《京》 てっぼうちどん【鉄砲撃ち】 獵師 **hunter**  
 てっぼんたま【鉄砲弾】 ②出掛けたまま帰らない  
 てづま【手爪】 手先 手仕事  
 でづら【出面】 顔ぶれ ②日雇い人夫の出勤日数  
 でてうせろ 出て失せろ 出て行け（卑語）  
 てておや 古語【父親】 **father** 男親《京》  
 でてはつてく 逃げ出す 出 奔する **flight**  
 でてみゆう 出てみよう ②出場しよう  
 てでやー 古語【手代】 **clerk** 使用人 小使い ②下級役人  
 ててんご てまんご 古語【手転業】 手遊び 手なぐさみ  
 でとうなか でとうにやー 出たくない  
 でとく 出ている ②出て待っている

でどころ【出処】 出身地 生家 出口  
 でとけ でとれ 出ている  
 てどり 手付き 手の所作 手の動かし方 手振り 手捌き  
 てとり あしとり 手取り足取り 懇切丁寧に  
 てどりノわるか てどんのわるか 手捌きが悪い  
 でとる 出ている ②出来ている ③突出している  
 …てなー …てなん …てや …だって 「何てなー」  
 てなぐさみ てなぐさめ【手慰め】 手遊び 手仕事  
 てなむ 古語【連れ立つ】 伴う 同伴 一緒に行く  
 てなれとる 古語【手馴れ】 熟練している  
 でなん でにゃん でらにゃん でんなん 出なければならない  
 てにおえん てにゃおえん 手に負えない 持て余す  
 てにかのうとる 手利き 腕利き 器用である 技術がある  
 でにつか 出難い 出辛い 出ることが困難  
 てにも はりゃーも 掌 **palm** ②唯一の 他に無い  
 …てにゃ …しては 「聞いてにゃみゅうだ」  
 …でにゃ …せずに …しないで 「行かでにゃいっしょれ」  
 てぬき【手貫】 手甲 手の甲を覆う布 腕カバー  
 でぬぎノでけでにゃ …ノでけでん 抜け出る事が出来ずに  
 てぬぐい てのぐい てのごい《京》 古語【手拭ひ】 **towel**  
 …てね …てねー …だと言うのか …なんだって  
 …ての …だとか …とか …や 「蛸ての烏賊てのばっかり」  
 てノあがる 上達する  
 でノある【代】 持ちが良い ②経済的だ ③分量が豊富だ  
 てノいる 人手が要る 人工が掛かる  
 てのうで 連れだって 一緒になって 「てのうで行こう」  
 てノかかる 手間が掛かる 手数が要る 世話がやける  
 てノかなわん てンかなわん 手が思うように使えない  
 てノきれーか 技量が優れている 手先が器用  
 …で のしでにゃ …で のしにゃ …でなければ  
 てノたらん てンたらん 人手が足りない 手不足  
 てノでらん てノでん 欲しくても求められない  
 てノはやか【手早い】 **quick** すぐ暴力を振るう ②女に手を出す  
 てノはら てノひら てンはら てンひら【掌】 **palm**  
 でノなか でンなか【代】 持ちが悪い ②不経済である  
 …で ばしあるごて …だとも言うのか …ではない筈  
 てはず【手筈】 **arrangement** 準備 用意  
 てはっちょうくちはっちょう【手八丁口八丁】 仕事上手で能弁家  
 てばな【手鼻】 手で涙をかむ  
 ではな 古語【出鼻】 旬 **season** 出っ端 出初め

てばなくじく 古語【てばなくじく】 最初からけちがつく  
 てばなひる〈手湊〉 指を当てて湊を放る  
 てばやか【手早い】 **quick** 仕事が早い 口より手が早い ②女好き  
 てばらきる〈手腹〉 他人の分まで自分の持金を出す  
 でばり〈出針〉 外出前の縫い物（忌み嫌う）  
 でばり〈出張〉 出ずっ張り  
 てびろか【手広い】 広範囲 大規模  
 てぶきんわるか てむきんわるか【手向き】 手の所作が悪い  
 でぶし【手節】 手 腕 腕前 お手並み  
 でぶしょう【出無精】 外出嫌い  
 でぶそく〈出不足〉 男女の労賃格差を不足金として取った  
 てぶら《京》 てぶり 古語【手振り】 素手振り  
 でべそ【出臍】 つき出ている臍 ②出たがりや でしゃばり  
 てぼ〈手籠〉 竹編みの笊 **basket** 竹籠  
 でほ【出穂】 稲の穂が出る  
 でぼ でぼちゃん 額 額の広い人《京・宮地岳》  
 てぼめ 古語【手誉め】 自画自賛 自慢  
 てま てまちゃん【手間賃】 仕事の時間や労苦 手数 労賃  
 てまえすかさん 自己中心 自分勝手 我田引水  
 てまがえ〈手間換え〉 加勢 共同作業 労力交換《京》  
 てまがえし〈手間返し〉 相互援助作業 労力交換 ゆい  
 でまかせ でまかしえ【出任せ】 言いたい放題 出鱈目を言う  
 てまとったね てまとりやして お手間を煩わしました  
 てまひまいらん てまひまかからん 雑作無いこと  
 てまひまかくる 手間を掛ける 造作する  
 てまめ〈手忠実〉 手作業を面倒がらず誠実に働く《京》  
 てまわし 準備 段取 「てまわしんよか」用意周到  
 でまわる【出回る】 普及する 流行る  
 てまゑやーて 手を回して 先手を打って 手配して 対策して  
てまんご 古語【手転業】 手遊び 手慰み 手仕事 飯事  
 てみず〈手水〉 餅搗きの杵取りが使う水 ②手洗水  
 でみせ【出店】 仮店舗 出張店《京》  
 てむかう〈手向かう〉 反抗する 逆らう  
 てめー【手前】 **you** 貴様 [あなた]の卑語《京》  
 てめし〈手飯〉 自前で食事する 手弁当 弁当持参  
 てもち【手持ち】 現に所有している物  
 でもどり〈出戻り〉 離婚して実家に戻る事 その女性  
 でもん〈出物〉 排出物 排ガス オナラ  
 てやー 古語【手合ひ】 仲間 相手 **partner** 手合わせ  
 てやーくむ 仲間に入れる 結託する

てやー 古語【手合ひ】 相手 仲間 連中  
 でやー【出会い】 集会 集まり **meating** ②初対面  
 …てやー …だと言うのか …なんだって「好きでやー」  
 でやーく でやーくどん【大工】 **carpenter** [だ]の転音  
 でやーこん【大根】 アブラナ科の二年草《京》  
 でやーじ【大事】 **importance** 大切 **important** [だ]の転音  
 てやーて【炊いて】 煮て《京》[た]の転音  
 でやーなし 台無し  
 でやーら【平】 平地 **plain** [た]の転音  
 でやう【出会う】 **meet with** 行き会う ②おち会う  
 …でやす …でございます 「そうでやす」  
 …でやすたいなー …ですよ《下津浦》  
 …でやっしゅう …でございますよう  
 でやならん 出られない 外出できない《竜ヶ岳》  
 てよう 手の所作 **gesture** 手のこなし 動作 仕種 **action**  
 でようた でよた《京》【出合った】 ②出会った  
 てらす【照る】 **shine** 日照 お照りになる(事象敬語)  
 デラックス 《フランス語》 **de luxe** 贅沢な 豪華 **luxury** 高級  
 てらにんそく〈寺人足〉 寺へ使いに行く人  
 でらりゅうきゃー でらりゅうけ でらりゅうに 出られないよ  
 でらるる でられる 出られる 外へ移動する ②出場できる  
 でられん でれん 古語【出れぬ】 出られない  
 てるる【照れる】 はにかむ 恥じらう きまりが悪い  
 てれえつとしとる ぼんやりしている  
 てれくしゃーもん 恥ずかしいものだ きまり悪いよ  
 でれつとしとる だらりとして締めまらない  
 でれでれ てれんくわれん てれんぱれん〔擬態音〕<sup>オノマトペ</sup> ぶらぶら だらだら ぐずぐず  
 のんんびり  
 …てる てろん だとか とか やら 「なんてろかんでろ」  
 …てん 古語【てむ】 …しても 「行たてんよかね」  
 …てん …してご覧 「こっち来てん」こちらへ来てご覧  
 でん 古語【出ぬ】 出ない 現われない  
 …でん …せずに …しないで 「行かでんいっちよる」  
 …でん …でも 「何でんかんでん」何でもかんでも  
 でんある 持ちが良い 経済的だ 分量が豊富だ  
 …てんか …してご覧 「貸してんか」貸してご覧  
 てんがな 器用 **skill** 手利き 《志柿》  
 でんきばしら でんきんばしら 電柱 送電用の支柱  
 でんぐ 古語【伝供】《梵語》 手渡しで仏前に供物を供える  
 てんぐさ【天草】 テングサ科の海藻 心太・寒天の原料



てんぐどり 古語【伝供取り】 瓦などを列に並んで手渡しする  
 てんぐのうちわ【天狗の団扇】 ヤツデの葉  
 てんくぼ 掌 **palm** 手の内側 たなごころ  
 でんぐりかやす 引っ繰り返す 逆さにする《京》  
 でんぐりかやる 前転する 引っ繰り返る《京》  
 てんぐるま【手ん車】 肩車 人を肩に跨らせて担ぐ  
 てんぐるまんじょ 肩車《大浦》  
 てんぐわ 手軽い鍬 板鍬《京》  
 てんげ 古語【手拭ひ】 タオル **towel**  
てんげんつう 古語【天眼通】 天眼で見透かす力 ②抜け目のない人 ずる賢い人  
 口八丁手八丁 手利き  
 てんこもり 掌一杯 茶碗一杯盛り立てること 山盛り《京》  
 でんじ【田地】 田となっている土地  
 てんじく【天竺】 インドの古称 外国 ②舶来 ③天竺木綿  
 でんじでんぱた〈田地田畑〉 田と畑 農家の財産  
 でんじもち〈田地持ち〉 大地主《京》  
 でんしんばしら【電信柱】 通信用の電線を架設する柱  
 てんちがえし〈天地返し〉 田畑を深く鋤き返す 反転  
 てんで 天から 丸きり 全然 全く **utterly**《京》  
 てんでなっとらん 丸きり駄目だ  
 てんでこみゃー てんでこめー【天手古舞】 大忙し **busy**  
 てんでに てんでん 古語【手手に】各自 **everyone** 夫々 銘々《京》  
 でんでんむし 蝸牛 **snail** マイマイ科の軟体動物《京》  
 …てんど …してご覧 「遣ってんど」  
 てんどうまわり〈天道回り〉 出棺時に庭で3回右回りをする  
 てんとさま てんとさん 古語【天道】 天の神 太陽  
 てんとまぶり〈天道塗り〉 日当りの良い田畑  
 てんともうり〈天道守り〉 水利が悪い水田 日照頼り  
 でんなか 持ちが悪い 不経済である  
 テンバ 《オランダ語》 **on ten boar** お転婆 **tomboy** 陽気で活発な娘  
 騒々しく慎みのない娘  
 てんば〈天端〉 上端 上面 生コンクリート等の上面  
 でんば でんばん 出なければならぬ  
 でんぱた【田畑】 田と畑  
 てんはら【掌】 手のひら たなごころ  
 てんはらひっくりかや一たごて 急に態度を変えて 豹変して  
 てんぴ【天日】 **sunlight** 太陽熱  
 てんぴぼし【天日干し】 太陽熱で乾燥させる  
 てんぴんぼう【天秤棒】 担い棒 あふこ・おうこ 杵  
 テンプラ 《ポルトガル語》 **temporas** 天麩羅

てんぼせん【天保銭】 八厘 少し足りない ②知恵なし  
てんま てんません 釣舟 小舟  
てんまかせ 天運 自然の運命 成り行きに任せる  
てんもっこ〈天秤 畚〉古語【畚】 basket 土木作業用運搬具  
てんやわんや 混乱 **confusion** 混雑 ②大騒ぎ 大忙し